

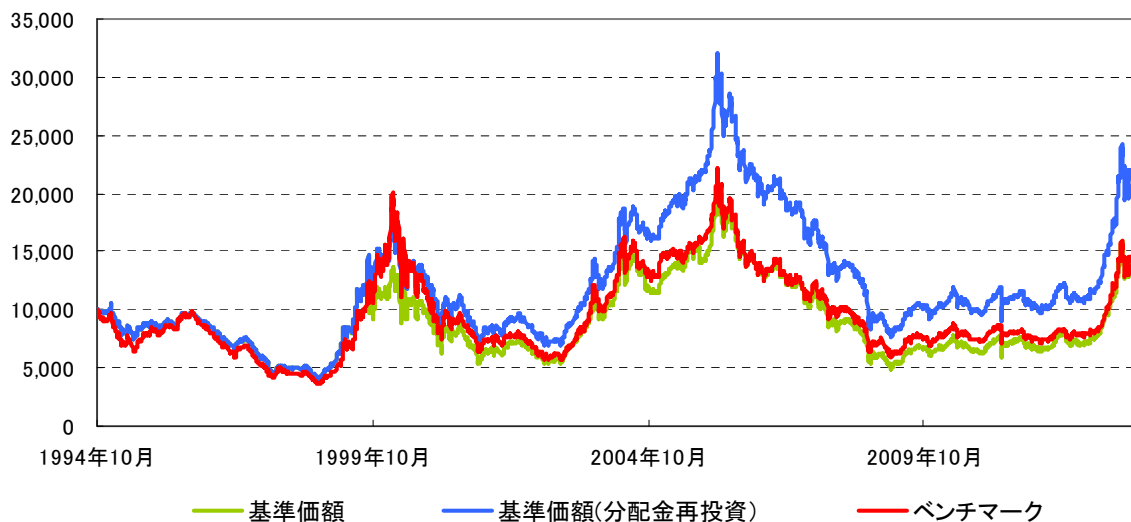
平素は「JASDAQオープン」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。さて、当ファンドは2013年9月17日に第19期の決算を迎えました。つきましては、当期の運用状況・分配金額、および今後の運用方針等に関するレポートを作成いたしましたのでご高覧賜りますようお願い申し上げます。

- 当ファンドは9月17日に第19期の決算を迎え、1,800円(1万口当たり、税引前)の分配を行いました。基準価額(分配金再投資)は前期末(2012年9月18日)と比較して92%の上昇となり、ベンチマークのJASDAQ INDEXを15%上回りました。
- 景気が回復し株式市場が反転上昇に向かう局面は、小型株にとって有利な環境となることが期待されます。
- 安倍政権の成長戦略に「東京五輪」の効果が加わり、経済成長の期待が高まるなか、引き続き、潜在成長力が高く、将来の株価の上昇が見込める小型株の銘柄の発掘、選択を行っていく方針です。

運用状況、分配金等

【基準価額の推移】

(期間:1994年10月14日(設定日)～2013年9月17日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。
- ・ベンチマークはJASDAQ INDEXです。指数については、「当資料で使用した指数について」をご参照ください。

【直近10期の分配金実績(税引前)】

第10期 2004年9月16日	第11期 2005年9月16日	第12期 2006年9月19日	第13期 2007年9月18日	第14期 2008年9月16日
1,100円	1,300円	0円	0円	0円
第15期 2009年9月16日	第16期 2010年9月16日	第17期 2011年9月16日	第18期 2012年9月18日	第19期 2013年9月17日
0円	0円	0円	0円	1,800円

第19期分配金
(1万口当たり、税引前)

1,800円

- ・運用状況によっては、分配金が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。■本見通しなし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動・運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。■計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。



三菱UFJ投信

【運用状況】

当期(2012年9月19日～2013年9月17日)の国内株式市況は、安倍政権が打ち出した経済政策への期待感などから上昇しました。当ファンドのベンチマークであるJASDAQ INDEXは前期末(2012年9月18日)から77%の上昇となりました。一方、当ファンドの基準価額(分配金再投資)は前期末から92%の上昇となり、ベンチマークを15%上回りました。

【ベンチマークを上回った主な要因】

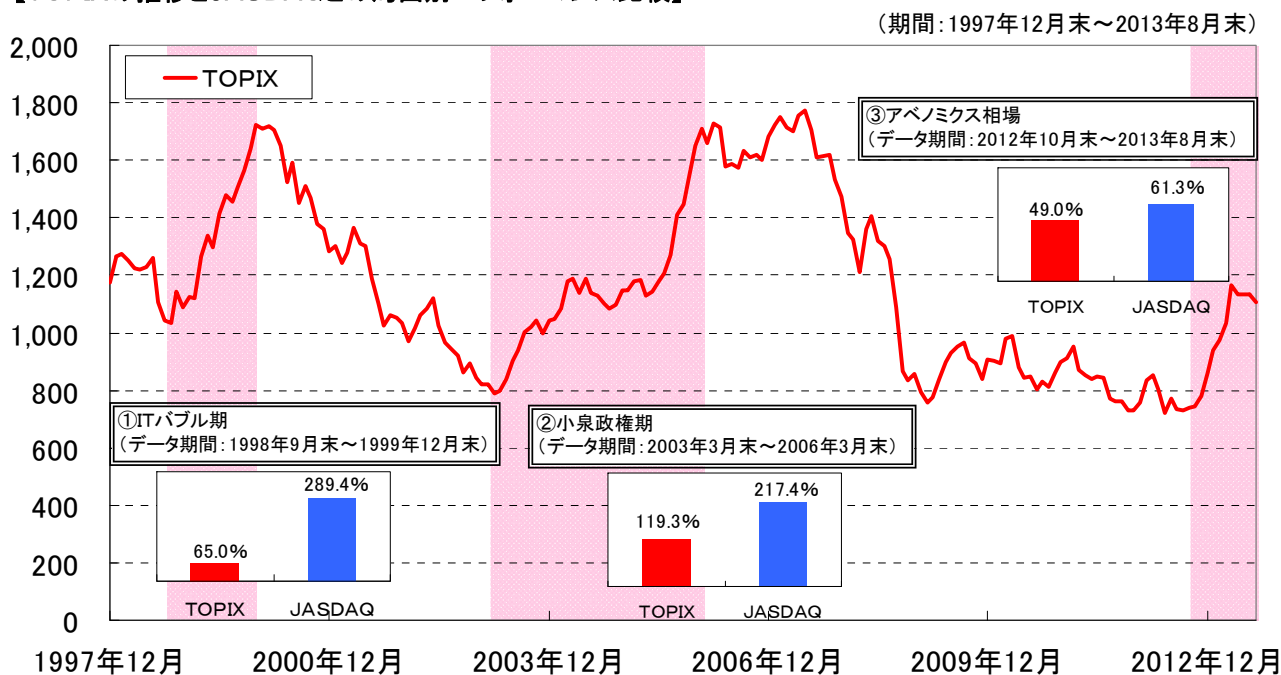
当期の超過収益においては、銘柄選択が大きく寄与しました。具体的には、スマートフォン向けゲーム「パズル&ドラゴンズ」が大ヒットした「ガンホー・オンライン・エンターテイメント」、北米市場が好調な小型建機の「竹内製作所」、政府の成長戦略が追い風となる保育園運営の「サクセスホールディングス」などの組入れが奏功しました。

上記の基準価額上昇および市況動向を勘案し、当期の分配金を1,800円とさせていただきました。今後も綿密な企業調査に基づき、成長性が高いと判断される銘柄への投資を積極的に行っていく方針です。

業績回復期での小型株のパフォーマンスは大型株を上回る傾向

過去のデータに基づけば、株式市場が大きな調整から立ち直る局面や企業業績改善を伴う景気回復期において、小型株(=JASDAQ INDEX)のパフォーマンスは大型株(=東証株価指数(TOPIX))を上回る傾向がありました。規制緩和等による成長力強化をめざした安倍政権の成長戦略は、大型企業に比べ小型企業の業績によりプラスの影響を与えられと考えられます。したがって、今回の企業業績回復を伴う景気回復を背景とした株式市場の反転上昇局面は、小型株にとって有利な環境となることが期待されます。

【TOPIXの推移とJASDAQとの局面別パフォーマンス比較】



(出所)ブルームバーグ社、各種報道等より三菱UFJ投信作成

・上記グラフは指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については、「当資料で使用した指数について」をご参照ください。
 ・上記の個別銘柄および情報は、理解を深めていただくためにご紹介するものであり、特定の銘柄の推奨あるいは証券売買の勧誘を目的としたものではありません。

■上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。■本見直し分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動・運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
 ■計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。



三菱UFJ投信

超過収益の大部分を銘柄選択効果で獲得

当期のベンチマークに対する超過収益15%のうち、その大部分が銘柄選択効果によるものとなりました。

当ファンドでは、企業の中長期的な潜在成長力の発掘を重視し、小型株投資の最大の魅力である高いリターンを獲得することをコアの投資戦略と考えています。企業戦略の独自性、市場の成長性、競争優位の持続性、シェア拡大の可能性、マネジメント力などを重視した投資観点の下、同一のファンドマネジャー・チーム体制による長期にわたるファンド運用と再現性のある一貫した運用プロセスなどにより、長期的に良好なパフォーマンスを実現しています。

当期プラス寄与銘柄のご紹介

■ガンホー・オンライン・エンターテイメント (証券コード:3765)

PC、携帯電話などモバイル向けゲームの開発・配信会社。同社は、もともとPC向けオンラインゲーム会社で、「ラグナロクオンライン」を世界的に展開していました。

2012年2月発表の「パズル&ドラゴンズ」が大ヒット、業績が大きく成長しました。この大ヒットの背景には、それまでのSNSゲームと異なり、「一人で課金なしでも充分楽しめ、誰でも出来る色あわせパズル」という点で集客したことにあります。そして、ユーザーの多くを付加的サービスへの課金に導いたことから、携帯ゲーム市場の活性化につながりました。

同社の今後についても、「パズル&ドラゴンズ」の海外でのさらなる展開、大ヒットのノウハウを活かした新ゲームの投入などが期待されます。

■竹内製作所 (証券コード:6432)

長野県に本社を置く建設機械中堅メーカー。主力商品はミニショベルですが、このほか土砂などを積み込むためのクローラローダーや工業用攪拌器なども製造しています。

同社は海外売上比率が高く、特に欧州、米州向けの比率が高くなっています。米国の住宅投資が改善基調にあると判断し同社に注目、業績は2013年2月期後半から改善が顕著となり株価も上昇基調となりました。2014年2月期は、円安を増益要因とし、また、国内での震災復興需要が継続することによる業績の拡大が見込まれます。

今後も、個別企業の潜在成長力の発掘を重視し、成長戦略に対応した産業や企業などに注目しつつ、銘柄選択によるパフォーマンスの向上に努める所存です。

【ガンホー・オンライン・エンターテイメント 当期の株価推移】



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

【竹内製作所 当期の株価推移】



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

・上記の個別銘柄および情報は、理解を深めていただくためにご紹介するものであり、特定の銘柄の推奨あるいは証券売買の勧誘を目的としたものではありません。

【当資料で使用した指数について】

- 東証株価指数(TOPIX): 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- JASDAQ INDEX: JASDAQ INDEXとは、JASDAQ上場の内国株券全銘柄を対象として時価総額加重平均方式に基づき算出される株価指数です。

■上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。■本見直しなし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動・運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。■計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。



三菱UFJ投信

MUFG

JASDAQオープン

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

JASDAQ上場株式を主要投資対象とし、中長期的に成長が期待できると判断する銘柄を個別に選定することにより、JASDAQ上場銘柄の指標であるJASDAQ INDEXを上回る投資成果をめざします。

■ファンドの特色

- ・主としてJASDAQ上場株式に投資し、信託財産の成長をめざします。
- ・株式への投資は、企業訪問等による調査・分析を通じて、中長期的に成長が期待できると判断する銘柄を個別に選定する方法により行います。なお、組入れにあたりましては、個別銘柄の株価水準や流動性を考慮します。
- ・運用にあたりましては、「JASDAQ INDEX」をベンチマークとして同指数を上回る投資成果をめざしたアクティブ運用を行います。

<主な投資制限>

- ・株式への投資割合に制限を設けません。
- ・同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定します。

<分配方針>

- ・年1回の決算時(9月16日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

ファンドは、中小型株を主要投資対象としているため、大型株中心に投資する場合に比べ、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- ・収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ投信株式会社

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)

後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 …三菱UFJ投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

手続・手数料等
■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位(ただし、1万口を上回らないものとします。) 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。 なお、1億口または1億円以上の換金のお申込みについては正午までをお願いします。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2019年9月16日まで(1994年10月14日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることでなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	毎年9月16日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。

■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

お客さまが直接的に負担する費用	
購入時	
購入時手数料	購入価額 × 2.1% (税抜 2%) (上限) 販売会社にご確認ください。
換金時	
信託財産留保額	ありません。
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
保有期間中	
運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × 年1.386% (税抜 年1.32%)
その他の費用・手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎計算期間の6ヵ月終了日および毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限ります。)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更とすることがあります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認ください。

■当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**
受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.muam.jp/>
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
基準価額・分配金をメール配信(*メール配信対象外ファンドもあります。)



販売会社情報一覧表

ファンド名称: JASDAQオープン

商号	登録番号等	加入協会
藍澤証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第6号	日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／ 一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMBCフレンド証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第40号	日本証券業協会
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第3号	日本証券業協会
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
極東証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第65号	日本証券業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第114号	日本証券業協会
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号	日本証券業協会
ばんせい証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第148号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
ひろぎんウツミ屋証券株式会社(*)	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第20号	日本証券業協会
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／ 一般社団法人金融先物取引業協会
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号	日本証券業協会
丸福証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第169号	日本証券業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／ 一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
豊証券株式会社(*)	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第21号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会

※商号欄に(*)の表示がある場合、新規申込のお取扱いを中止しております。